



「せと・しごと塾」とは

地域のニーズや課題をビジネスの手法によって解決することを理念とした「地域ビジネス」での市内開業を目指すみなさまや創業して間もない市内事業者のみなさまに対し、創業に必要な知識や実務を学んでいただく機会を提供する地域に根差した創業塾です。
行政、商工会議所をはじめ、大学、地元企業、金融機関など地域が一体となって塾生を支援します。

カリキュラム

座学 講義
事業計画作成に必要な知識、経営者として必要な個人スキルなどを習得するための講義で、入塾から卒業まで約4か月間実施されます。

実学 個人相談
塾生と専門家が個別に面談し、事業内容などを一緒に検討し、具体的な事業計画作成を行います。卒業後も活用することができます。

事業概要発表会・事業計画発表会
自身の事業計画のプレゼンテーションを実施し、プレゼンテーション能力を磨きながら、専門家のアドバイスを受けます。

講師陣



顧問
小林 甲一 先生
名古屋学院大学



塾長
小坂 英雄 先生
有起業経営研究所



澤 芳美 先生
さわ経営研究室



石川 一志 先生
税理士法人ちゅうぶ税経



柴田 朋子 先生
JUNO



瀬戸信用金庫

日本政策金融公庫名古屋中支店、愛知県信用保証協会が講師として協力しています。

合同会社ハーモニー 障がい福祉サービス事業所 らいむ畑
池田 陽子 さん・隆浩 さん 3期生(平成22年卒)





せと・しごと塾に入るきっかけ
「瀬戸で自分たちの理想とする障がい者のための施設を作る」という夫婦の夢を実現するには何から始めればよいかと情報を集めていた時、広報で「せと・しごと塾」を知りました。ビジネスのノウハウを学び、それを使うことで、障がい者が働き、生活する環境を少しでも改善できるのではないかと考えました。さらに夫婦が入塾することにより、それぞれの強みを活かせると思いました。

事業概要
「一人一人の姿で色色、一つのハーモニーとなるように、個人の持つ特性とともに認め合い、支え合い、向上し合う」という理念のもと、「障がい福祉サービス事業所 らいむ畑」を運営しています。
らいむ畑では、障がい者が通所して、畑で農作物の栽培をしたり、室内では軽作業や、音楽、絵画などの活動をしたりする、生活介護のサービスを提供し、日中生活を支援します。利用者が社会と繋がり、「明日もここに来たい」と思える場所を目指しています。

せと・しごと塾に入ってよかったこと
自分たちだけで準備していたら、開業までの歩みはもっと遅かったと思います。せと・しごと塾で、同じ思いを持つ親の会と出会いました。そのことで、この事業が地元でも必要とされていることを実感し、開業への意志はさらに強くなり、背中を押してもらいました。

創業者へのメッセージ
私たちは、まず、自分たちがやりたいと思っていることを周りの方に伝えました。最初はごく近くの友人に、まだ夢だけだと軽く話しました。すると、発行部数1,000部の新聞でしたが、毎月コラムを綴る機会をいただきました。そんな小さなスタートから、やがて開業に至ることができました。公言すると、行動に移りやすくなります。そして、助けてくれる人が現れ、道が拓かれます。

所在地 瀬戸市高根町3丁目18番地1
☎ 0561-58-3819 FAX 0561-59-3820
HP <https://raimu-batake.jimdo.com/>
開業年月 平成24年2月

一般社団法人 仕事ノアル暮らし
田中 悦子 さん 3期生(平成22年卒)



せと・しごと塾に入るきっかけ
青年海外協力隊として活動後、継続して支援していたルワンダ製品の販売支援を目的に入塾しました。
入塾後、元々従事していたメンタル疾患の方の支援も含めて、自分のやりたいことを全て事業にしようと思いい、メンタル疾患の方が就労訓練をする福祉事業所を立ち上げ、その中で、ルワンダ製品を加工販売することにしました。

事業概要
メンタル疾患をお持ちの方が就労訓練する福祉事業所「メンタル疾患であっても、貧しい国に生まれても人生を楽しんでほしい。夜不安なときに眠るのではなく、明日を楽しみながら眠りにつづける人を増やしたい。経済的に厳しい人には仕事を、精神的に苦しい人は安心を。」を目指して、就労支援事業、生活訓練事業、発達途上国支援事業を行っています。

せと・しごと塾に入ってよかったこと
人脈ができたことと実際に事業計画の立て方を学べたことがよかったです。同期や先輩の塾生と知り合い、協力をいただくことで社団法人を設立することができました。
また、グループで事業計画を作成する講座は、多角的な視野で計画を作るトレーニングになりました。その後の融資時にも、それは生きてきました。まさに経験が生きましたね。

創業者へのメッセージ
創業するということは、資金調達や人材雇用を自分でやらなければならないので、とても大変なことです。しかし、それに比例してやりたいことができるという醍醐味があります。
せと・しごと塾は地域密着型のビジネスを始めるにあたってはとても大きな力になりました。経営していくなかで課題にぶつかるともありませんが、「自分の起こした事業が人のためになった」という成果が直に見えるというのは素晴らしいことだと思います。

所在地 瀬戸市西本町2-6 プラザビル2F
☎ 0561-76-7171 FAX 0561-76-0071
HP <http://www.worklivelove.net/>
開業年月 平成23年8月

三峰園窯
加藤 達伸 さん 6期生(平成25年卒)



せと・しごと塾に入るきっかけ
「赤津窯の里めぐり」せと・しごと塾生協働プロジェクトでせと・しごと塾の雰囲気や講義内容を深く知ったことで、自分に足りない事が学べると感じ、入塾を決めました。卒業生の方々の活躍ぶりを近くで見て関心が深まりました。

事業概要
瀬戸焼の窯元。瀬戸焼の中でも織部や真瀬戸などの伝統的な技法を大切に手作りによる器づくりをしています。白や黒などモトーンのシリーズや、使いまわしのきく器を各デザイン・サイズを取り揃えて製作販売しています。
手づくりの利点を活かし、飲食店や事業者の方などからオリジナルの器や記念品などのオーダー製作をしています。

せと・しごと塾に入ってよかったこと
素晴らしい同期、卒業生、講師の方々などと繋がりが出来たことは入塾して良かったと思える一番のことです。
個人事業なので文字どおり「個」でいることが多かったのですが、相談できる場所、相手、仲間が出来ました。また卒業生などを通じて瀬戸を更に知ることができました。

創業者へのメッセージ
上手く物事が進むと思ったら相手都合でやり直したり、自己都合で失敗したり、意外な縁から依頼が来たり、壁を超えたり、と思いついては進みません。けれど常にアンテナを高くして情報を収集し、発信していれば、探している事を見出し、欲しい人に届きます。

所在地 瀬戸市窯元町123
☎ 0561-82-3256 FAX 0561-87-1351
HP <http://www.sanpouen-kama.com>
開業年月 平成20年11月

日本茶カフェ & 日本茶専門店 茶のいろは
鎌田 恵栄 さん 6期生(平成25年卒)



せと・しごと塾に入るきっかけ
開業しようと思ったから、せと・しごと塾の卒業生の方の話を聞いてずっと興味を持っていました。実際に5期生の事業計画発表会を見て、入塾を決めました。
瀬戸市は出店候補地の一つでしたが、せと・しごと塾に入って、瀬戸市でお店を開くことにしました。

事業概要
日本茶カフェ & 日本茶専門店。日本茶のムリイの店主自らが生産者を訪ね集めた厳選した日本茶を取りそろえています。瀬戸市で陶芸を学んだ経験を活かし、瀬戸焼とお茶やスイーツのコーディネートを楽しんでいただけます。
お茶といえは冬というイメージですが、夏期のお茶屋さんの抹茶かき氷「瀬戸おりべ」もおすすめです。

せと・しごと塾に入ってよかったこと
悩みを相談できる仲間ができたことが一番よかったです。
同期や卒業生にプレオープンで意見をもらったり、開業している人にチラシを置かせてもらったり、事業でも協力してもらっています。
瀬戸商工会議所や観光協会とのつながりもでき、瀬戸市で地域に根差して事業をやっていく助けになりました。

創業者へのメッセージ
起業して、結果を出すことは簡単ではありません。
新商品の開発では世の中の求めるものを調査していますし、開業して4年を迎えようとしています。今でもチラシ配りに精を出しています。
「茶のいろは」をひとりでも多くの皆さんに楽しんでいただけるように地道に努力を続けています。

所在地 瀬戸市平町1-76
☎ 0561-58-3149 定休日 水・第3火曜日
HP <http://ameblo.jp/cha-no-iroha/>
オンラインショップ <https://chanoiroha.shop-pro.jp/>
開業年月 平成26年4月